



びっぎー

第23号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

2月の全校朝会より（漢字ってすごい！）

全校朝会で、私が3年生に話すのも最後になると思います。特に3年生にとって、中学最後の全校朝会で、こんな話、特に後半の話があったなと覚えていてくれたらうれしいです。…（前半省略）…



身・からだを美しくすると書いて……しつけです。
子どものときに、最低限の礼儀やマナーなどを教えこむことです。教えてもらわなかったり、躰を身につけていなかったりすると、大人になって社会に出て、苦勞すると思います。縫いものをするとき、正しく整えるために仮にざっと荒く縫うことをしつけといひます。きちんと整えるための作業と同じだと思います。



「協力」なんでこんなにいっぱい力の字を書くんだろうと思っていました。こんなふうに理解してはと思います。
初めの力は自分の力。2つめの力は友達の力。3つめの力は家族の力、場合によっては先生の力。それらをみんな合わせる（+）と大きな力になる。自分の力を含めて、みんなの力で、大きなことが成し遂げられる。それが「協力」ではないかなと思います。



生物学的分類として「人間」はカタカナで「ヒト」といひます。「人間」とは「人」の「間」と書きます。人と人の間には何が必要だと思ひますか？

私は「思いやり」だと思ひます。思いやりが人と人を繋ぐものだと思ひます。まさに、「思いやり」がない学級はカタカナの「ヒト」の集団で、崩壊した学級になってしまうのではないのでしょうか。



この「思いやり」ですが、「思い」と「やり」が合わさった言葉で、字の如く自分の「思い」を相手に「やる」ことで、「思いやり」が成立すると私は思ひます。しかし、自分がもらいたくない「思い」は他人にもあげなでください。逆に、自分がもらってうれしい「思い」を他の人にいっぱいあげてください。みんながこういう思いでいると、素晴らしい学校になるし、その人にも友だちがいっぱい集まってくると思ひます。

今日から早速「思い」を「やる」ということを実践してください。



感謝とは、「感じて言葉で射る」と書きます。射るとは、向けて放たれたものが対象をとらえる。「やさしい言葉が心を射た」「矢を射る」とか使ひます。

言葉にして初めて相手に届く、言い換えれば、言葉にしなければ、感謝の気持ちは相手に届かないということです。「ありがとう！」「美味しかったよ！」「おかげで助かった！」口に出したり、手紙に書いたり…

感謝の気持ちをどんどん「言葉」にしていきましょう。言葉にしなければ相手に伝えないことを知っておいてください。



この画像に見覚えがありませんか？

学校の1階と2階の階段の途中にある掲示物です。

スペースの関係上横に配置してありますが、元絵は縦になっています。星野富弘さんの作品です。星野富弘さんは中学校の体育の先生でした。星野さんは、

部活動指導中の墜落事故で頸椎を損傷、手足の自由を奪われました。この作品は、口に筆をくわえて絵や文字を描かれたものです。その詩の中に、「私にできることは小さなことでもそれを感謝してできたらきっと大きなことだ」この掲示板を見て通るとき、感謝の話を思い出してくれたらうれしいです。



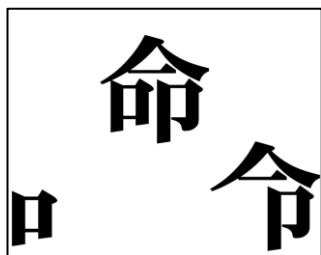
ネットでこんな漢字を見つけました。
「感謝」以外に何と書いてあるか読めますか？
→「ありがとうございます」



他にもありました
「出逢」→「ありがとう」
「笑顔」→「しあわせやってくるよ」
「家族」→「おかえりなさい」

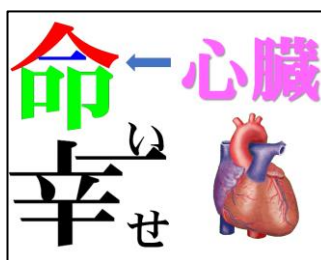


最後の漢字です。
「命」という漢字です。以前から、どうして「人を一発、叩く」から成り立っているのか？疑問に思っていました。
なぜ、生き物にとって一番大切な命の漢字の成り立ちがわからなかったのか、今回、調べてみたら、全く違っていました。



「命」は人を一発叩くのではなく、「令」と「口」が合わさった漢字で「令」は、帽子をかぶりひざまずいて、神のお告げを受ける人の形をあらわしており、口は、神からのお告げを入れる器をあらわしていました。
神さまや仏さまに誓いを捧げ、神様や仏様のお告げとして与えられたものが命という意味です。つまり、人の命は神様や仏様から与えられたものということです。

あなたの命は、神さまや仏さまからいただいたと同時に、遠い祖先から守り継がれ、親から渡されたものでもあります。
地球上、昆虫など多くの生物が生存する中、私たちは偶然、人として命を与えられ、多くの人に出会い多くのことを学び、多くの人々に感謝することができます。
一度の人生、好きなことに熱中してもいいし、覚悟を決めて新たなことに挑んでもいいし、将来の希望を持って精一杯生きることが、神さまや仏さまの意思に添うことであり、祖先への感謝や親孝行にもなります。



私が勘違いをしていた、「人を一発叩く命」ですが、連続して一発ずつ叩いているものが私たちの体の中にあると思います。何かわかりますか？心臓です。本来の「命」の漢字の意味とは、違いますがそう考えてもいいのでしょうか？

11月に小学校体育館で、猿渡瞳さんのお母さんの講演を聞いたと思います。
「大切な命」
命が終えると多くの人々が悲しみます。自分一人では生きていないのです。多くの人がつながり合って生きています。あなたたち、一人一人は、幸せに

なるために生まれてきたのです。
ましてや、この鼓動を、決して自分で終わらせては絶対いけない命なのです。
これからの人生、辛いときもあるでしょう。でも長い人生からすると一時です。また必ず幸せが訪れてくるはずですよ。
与えられた命を一生懸命生きてください。

最後に、さだまさしの「いのちの理由(わけ)」という歌(映像)を聞いてもらいました。

(<https://www.youtube.com/watch?v=ZIXN6QItDK8>)

